

機械器具設置工事業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	16～ 17	自社資材置場において、ダンプ車後方扉を開けた状態で荷台に積んであった砂をスコップで降ろそうとした際、扉のフックが完全に留められていなかったため、扉が被災者の左足甲に落下し、骨折した。	34	—
1	14～ 15	屋外にある脱水機を調査中、右側方にある屋根から雪が滑り落ちてきた。道路上に落ちたがその滑り落ちてきた勢いは止まらず、約30cmの厚さで約15m離れた被災者まで流れ、右ひざ側面を直撃し被災した。	49	10～ 29
7	16～17	炉用変圧器（約70t）の搬出入作業に伴い2Fの変圧器室前ステージ作成時に、H鋼（300H長さ7.5m／重さ800kg）を1Fからイーグルクランプ2個を使用し、16tRcにて荷揚げを行っている際、先に荷揚げをしているH鋼の上に2段積みしようとした時、H鋼が滑り横にいた被災者の足の上に乗りかかり、H鋼と右足の甲の部分が挟まった。	28	10～ 29
10	13～ 14	昼休みローラコンベア停止中に機械部品を設置した。午後確認をした時に、うっかりコンベア下枠に手をかけたとき、ローラコンベアが稼働中であったため、枠の中にある回転しているスプロケットに軍手が絡み込み、スプロケットとチェーンの間に左手薬指を挟み込み負傷した。	48	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html